



杉並区赤十字

奉仕団だより

〈赤十字国際標語〉

人間を救うのは、人間だ

赤十字七原則

人道 公中 独立 奉仕 世界性
道平 立立 立仕 一性

「赤十字奉仕団の信条」

- 一、すべての人々のしあわせをねがい、陰の力となって人びとに奉仕する。
- 一、常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 一、身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和につくす。



「これから」

杉並区赤十字奉仕団
委員長 矢崎 芳子

先の見えない思いの中で新年を迎えました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の中、様々な活動の中止が続き、見えない恐怖と、毎日報じられる感染者の増加に怯える日々でした。

多少の行動が取れるようになった頃、都支部から「大森赤十字病院で使う新型コロナウイルス感染症対策のビニールエプロン作成」のお話がありました。奉仕団委員会で話し合い、取り組むことが決まりました。

大変な困難の中で頑張っている医療従事者の方々を思うと、私たちの作業にも自然と力が入りました。

人の役に立てていることが実感できる活動だと、多くの団員から声が上がっています。目標に向かう団結力と活力は、素晴らしいものだと感じています。この力を途切れさせず、これからの活動につなげていかねばなりません。改めて赤十字基本七原則を振り返りながら、今後の取組への思いを新たにしました。

杉並区赤十字奉仕団へのお誘い

～あなたも一緒に活動してみませんか？～

私たちは、献血奉仕・防災食講習・裁縫奉仕など地域で活動しています。一人ひとりの小さな行動が大きな力につながります。

問合せ先：杉並区赤十字奉仕団事務局

赤十字基本七原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道**：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平**：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立**：すべての人の信頼を得るため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立**：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕**：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一**：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性**：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

杉並区総合震災訓練

杉並区総合震災訓練は、地域住民や防災関係機関等との連携による地域防災力の向上を図るために、毎年行われています。

杉並区赤十字奉仕団では、防災食見本や紙コップ・新聞紙スリッパの作り方・携帯トイレなどを展示しました。



令和2年11月14日(土) 桃井原っぱ公園

東京都赤十字功労表彰受章者 受章おめでとうございます

敬称略、順不同
カッコ内は所属分団

- 令和2年度
 業務功労感謝状 ▶ 大西久江(上井草)
 奉仕団金色有功章 ▶ 四ツ橋昭子(上井草)
 奉仕団金棒支部長感謝状 ▶ 滝沢桂子(永福町) 大嶽由起子(上井草) 山口幸子(高円寺)
 奉仕団銀棒支部長感謝状 ▶ 前田チエ子(文化連盟) 山本すみえ・末光都子(永福町) 石川昭子(上井草)

令和2年度 活動報告

名称	日程	名称	日程
奉仕団総会	中止(文書審議)	献血奉仕	令和3年2月(予定)
駅頭キャンペーン	中止	手芸奉仕	月第3木曜日
PRパネル展示	中止	武蔵野裁縫奉仕	令和3年2月(予定)
人仁の会	中止	奉仕団委員会	6月、8月、9月、12月、2月
ビニールエプロン作成(大森赤十字病院向け)	8月17、18、21、24日	奉仕団研修会	10月14日
杉並区総合震災訓練	11月14日	非常用ビニールエプロン作成	9月～11月

手芸活動

平成26年11月、都支部から提案があり、杉並区赤十字奉仕団活動として、手芸を始めました。最初は、アクリル毛糸による「赤十字マーク入りたわし」の製作に取り組み、定期的に月一度活動することになりました。今年で6年を経過し、作品の数も写真のように増えました。



- ・赤十字マーク入りたわし
- ・ねこのお手玉
- ・ねずみ(干支)
- ・ティッシュ入れ
- ・小袋(ファスナー付)
- ・クマのたわし・ポプリ人形
- ・コップ洗い・シュシュ(髪留)



作品は献血をされた方へ、お配りしています



毎回、和気あいあいと楽しく作り方を教え合いながら作品を作っています。現在は、新型コロナウイルス感染症の予防に心がけながら作成しています。作品は、年3回区役所1階ロビーで行われる献血をされた方にお配りしています。喜んでいただけたら幸いです。

編集後記

★新型コロナウイルス感染症に対応して下さる医療従事者の方々への感謝の気持ちで、ビニールエプロンを作成しました。また奉仕団が出来ることを改めて復習し、学び続けることが大切であると思いました(石田)

- ★今年は活動も制限されましたが、エプロン作成や研修会等で奉仕団の心構えを学んだ一年でした(長澤)
- ★思わぬ災害を受けて限りのある中でも、出来ることを活動することが大切だと感じた広報誌作成となりました(山本)
- ★今年はボランティア活動が制限されましたが、手芸は作品がたくさん出来て、特集記事ができました(谷口)
- ★活動が夏以降に集中しましたが、エプロン作成・研修等への参加者も多く、奉仕団員の熱意を感じました(野田)

＜編集委員＞

- 石田 悦実(上井草)
- 長澤百合子(永福町)
- 山本すみえ(永福町)
- 谷口 悦子(文化連盟)
- 野田 道子(上井草)



特集

災害時にわたしたちが出来ること

医療関係者への感謝を込めて ビニールエプロンを作成

日赤東京都支部より、大森赤十字病院で新型コロナウイルス感染症対策に使用する病院用資材（ビニールエプロン）の作成依頼があり、杉並区赤十字奉仕団も作成に協力しました。

70ℓのビニール袋がエプロンになります!!

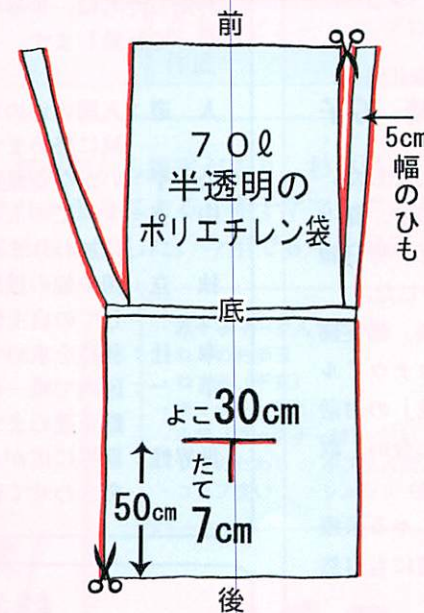
① 5cm幅の線を引きます



② 両端を切り袋を開き、①で引いた線に沿ってひもを作ります



展開図



③ 頭を入れる部分に切込みを入れます



④ 切込みに頭を入れ、エプロンをかぶります。ひもを結べば、完成です。



赤線部分を切ります



奉仕団の声 (抜粋)

- ・奉仕団として、作成に参加できたことに意義を感じます。
- ・医療関係に少しでもお役に立てて、うれしく思います。
- ・今出来ることを、奉仕団活動として協力したいと思えます。



完成した400枚のビニールエプロンは、8月24日に日赤東京都支部を経由後、大森赤十字病院へ送付されました。

病院では、一般外来で新型コロナウイルス感染症の感染確認をする際に使用し、一人に対応をするたびに処分しているそうです。

また、災害時には、防寒用としても役立ちます。

改めて、今までの復習

令和2年10月14日(水) 杉並区役所において、杉並区赤十字奉仕団研修を行いました。

〈講習〉



当日は、日本赤十字社の使命や基本原則、スローガンをあらためて確認することから始め、その後、区の災害時の体制を確認しながら、災害が発生した時に自分たちに何が出来るのかを考えました。

また、講習を受け今までに学んだ実技を復習し、一人ひとりが思いを新たにしました。

〈車いす実技〉



受講者の感想 (抜粋)

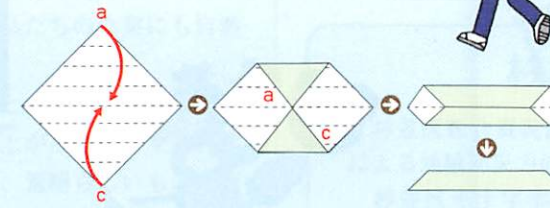
- ・日本赤十字社のミッションステートメント「人間を救うのは人間だ」の再認識
- ・自助・共助・公助のバランスが大切
- ・地震と水害では避難場所が違うことを知った
- ・水害ハザードマップ・防災マップを確認して、知識として知っておくことが重要

リュックサックを作ろう!

2枚のふろしきを使って

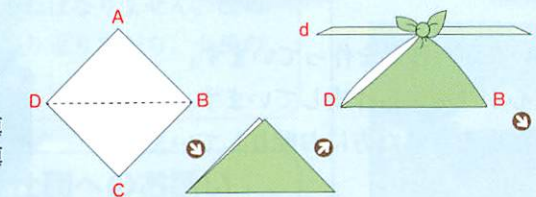
〈ひもを作る〉

- ① cを中央に2分の1に折る。
- ② aも同様に折る。
- ③ c側をさらに2分の1に折り、a側も同様に折る。
- ④ aとcを重ね、8分の1にする。



〈袋を作る〉

- ⑤ AとCを1回結ぶ。
- ⑥ ひもの中心を結び目の上に置き、AとCを本結び(真結び)する。
- ⑦ ひものbと袋のBを本結び(真結び)し、dと袋のDも本結び(真結び)にする。



実技講習会の感想 (抜粋)

- ・車いすに慣れるように、回数を重ね実技の練習をしたい
- ・機会がある時は、何度も講習して欲しい
- ・復習の機会を持てて良かった

【出典】『災害が起こったときに-災害時高齢者生活支援講習ハンドブック-』 日本赤十字社 平成29年5月発行

日本赤十字社では、救急法などの講習会を全国で開催しています。お問い合わせ、お申し込み方法は、下記ホームページでご確認ください。

日本赤十字社 救急法等の講習 <http://www.jrc.or.jp/activity/study/>



※ふろしきがない場合は、スカーフでも代用できます